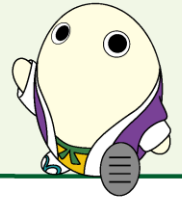


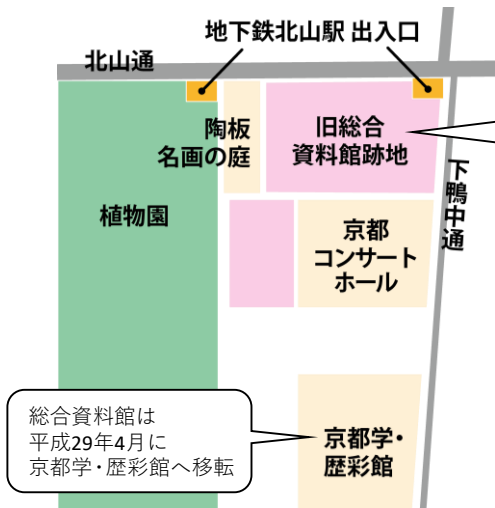
## 北山エリアの整備について

～京都が世界に誇る文化と憩いに包まれた交流エリア～

北山エリア整備について、検討状況を随時お知らせします。



旧総合資料館跡地等において、新たな舞台芸術・視覚芸術拠点施設(劇場・展示室など)を軸とした北山エリアのエントランスに相応しい機能整備を検討しています。



総合資料館は  
平成29年4月に  
京都学・歴史館へ移転

## 旧総合資料館跡地とは

地下鉄北山駅に接しており、植物園をはじめ北山エリアを訪れる多くの人が行き交う“北山エリアのエントランス”とも言える場所です。



旧総合資料館 (平成28年9月閉館)

## 舞台芸術・視覚芸術拠点施設の整備を検討中

府立文化芸術会館(※)の優れた機能を継承するとともに、劇場・展示室・練習室など、創作活動から発表までの多様な文化芸術活動に対応できる新たな拠点の整備を検討しています。併せて、エリア全体の魅力向上につながる付帯施設の整備も検討中です。



北山エリア全体図

## ※府立文化芸術会館とは

昭和45年の開館以来、京都の文化芸術活動の拠点として幅広い方にご利用いただいておりますが、築50年を超えて老朽化が著しいことから、北山エリアへの機能継承を検討しています。

## ホール(劇場)

舞台と客席の面積がほぼ同じで、最後列でも演者の息遣いが伝わる客席と舞台が一体感を持つ中規模ホール(419席)



## ギャラリー(展示室)

手頃な広さに併せて、高い天井により大型作品も展示可能



## 旧総合資料館跡地等の活用に係る意見聴取会議の実施状況

8月9日に旧総合資料館跡地等の活用について、色々な専門家の方からご意見をいただきました。

## 主な意見等の概要

- 地域との繋がりを大事にして地域の皆さんと連携した運営をしていただきたい。
- 「ここに住んでみたい」と思われるような地域の方に喜んでもらえる施設を造ってほしい。
- 文化度が高い北山において、日常生活の延長線上として文化・芸術に触れることができる施設が造られれば大変良いのではないかな。
- 府民の皆様の意見をどれだけ聴いたのかということが大事。ワークショップのような形で府民の意見を聴く場を設けるべき。
- 子どもたちが文化芸術に親しめることが重要。親子連れで気軽に体験できる施設が良いのではないかな。



## 周辺施設の皆さんとの意見交換等の状況

商店街・福祉施設・小中学校・幼稚園・保育所などの周辺施設へ整備の方向性の説明や意見交換をさせていただきました。

### 主な意見等の概要

- 魚や動物も植物と重なるのが自然であり、植物園と動物園や水族館が連携した展示等ができるとうい。
- 植物園では低年齢の子どもでも分かりやすいような展示の工夫があるとよい。
- 植物園で、木のぼりや自由に植物に触れられるゾーンなど、来園者が自然と触れ合える自然体験エリアを小さくてもよいので作って欲しい。
- 植物園の大芝生地は暑くて弁当が食べられない。日差しを遮れて、雨天時にも利用できる屋根や陰があるとよい。
- 植物園のバックヤードでやっていることが学べるとよい。
- 体力のない高齢者や車椅子の方が植物園を回りやすいように、出入口、飲食ができる休憩所、多目的トイレを増やして欲しい。
- こども文化会館が閉館したので、新たな文化芸術施設で子どもの発表会ができるとありがたい。
- コンサートホールと役割分担して、新しい文化芸術施設ができるとよい。
- 利用料金が安ければ、子どもの発表会で新たな文化芸術施設を使いたい。
- 最近は暑いので、子どもの運動会で共同体育館を使えるとありがたい。
- 子どもには「するスポーツ」だけでなく、プロスポーツを観戦した時の感動や優れた技術を観る楽しさも感じて欲しい。
- 共同体育館には地域の避難場所としての機能があるとよい。

整備に関する  
Q & A



北山エリアの整備について、よくいただくご質問にお答えします。



コンサートホールがあるのに、なぜ新たに同じような施設をつくるの？



他の施設との役割分担をしていきます。

京都コンサートホールはクラシックをはじめとした音楽を中心に活用されており、現在検討中の新たな施設は演劇をはじめとした舞台芸術で活用するなど、各ホールの特長を活かし、役割分担をしながら相乗効果を発揮できるようにしていきます。



旧総合資料館の跡地にはホテルが建つの？



文化施設と付帯施設の整備を検討しています。

付帯施設は、ホテルを前提に計画を進めているものではなく、エリア全体の魅力向上につながる施設として求められる機能の検討を進めていきます。



総合資料館の機能はなくなったの？



京都学・歴彩館に機能を移転しています。

平成28年9月に総合資料館が閉館し、新たな機能を加えて平成29年4月に京都学・歴彩館として開館しました。どなたでもご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

